

# 調査員物語

定点調査は否応なく哲学をする? の巻



皆さん初めまして。  
調査室鳥類担当の  
かいた びし  
刈田 齊 デス。  
(大阪支社)

さて、ではこれから調査員  
を目指そうという人たちに  
何か参考になつくれた  
ら...という視点で  
書いてみます

猛禽類(ワシ・タカ類)  
の定点調査を例にとり  
お話してみよう。

陽差しの強い  
季節は  
熱中症も  
さがること  
ながら紫外線対策は  
とても重要  
です...

汗バツバツの時に日焼  
どめクリーム塗るのって  
気持ち悪くて発狂しそう

瞳へのケアとしてサングラスは  
必携ですが、人相がとて悪くなるので  
地元の人の前でははかしていません。

ワシ・タカの識別は「バードウォッチング」初級の人  
からは『ムズカシイ』という声をよく聞きます。

識別の早道としては『カラスとハトの飛び方と大きさ』

ヒラヒラリと上下に  
せわしない  
かんじ

- いじめここのぞく  
猛禽を追い払う  
いるので大きさの比  
較ができます
- 滑り滑っているところ  
はモークンに見  
えることがある

そこから見られる機会の多い『ヒビと  
ノスリ』をちゃんと認識できると...

さてはるか上空のモークンは  
一旦失って見失うと再び視野  
に入るのは容易ではありません

それに長い時間、空をバックにすると  
モークンを追っている自分かどっちの  
方向を向いているのかわからなくなっ  
てきます。

こんな時は、どのモークンの近く  
にある雲の形を覚えておいて

サッと接眼レンズから眼を  
離して方向を確認する  
ワザを使います

そんなわけで方向や実行きとかを把  
握するのはムズかしいので、飛行経  
路を図面に落とすのはベテランでも  
大変です。

雨・風・暑・寒の日、そして  
モークンがさっぱり出ない日  
は定点はつらいもんです。

5分・10分...25分は経たず  
と思えば時計を見てもまだ7分  
しかたつてなかりで、終了時刻  
ほんとは気が遠くなる程長く  
感じることもあります

そういう時は人生につい  
て哲学をしてしまうも  
んです。

おっと!  
そういうば  
ちコレート  
があた  
りけ?

...とまあ、結局哲学や食欲  
が勝るわけだ。しかし調子  
の悪い食べちゃくと太って  
しまいます(特に冬)

我慢我慢をかきねお  
やくお屋。さあ、おはざり!  
という時に...

うーへー、なんで  
このタイミング!?

エー、バ  
ッパです...  
おと旋回  
しては  
パーロー!  
さあ、い  
や、この  
ことさ  
す、ム。

フーツ  
ヤれやれ  
やれおす。

...おすむ  
落ちてる!  
しかもアリ...

皆さん、地味に見えて  
定点調査の最中は、哲学  
と食欲と仕事への使  
命感etc...が複雑  
に渦まわっているのです!

原案: 刈田 齊 絵: 飯塚 要